取付説明書番号 ME-1711
改-2

新日軽 ピュアスタイルフェンス 自在柱式 取付説明書

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本取付説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

○注意(設置場所・設置位置について)

- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日～1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。
- 施工後パネルを確認し、パネルに汚れ等がございましたら、パネルのお手入れ方法（P8)を参考に汚れを拭き取ってください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

この取付説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。	❗	「必ず行なっていただくこと」を示しています。

梱包明細

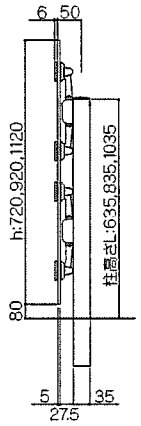
※表中の( )は、数量を示しています。

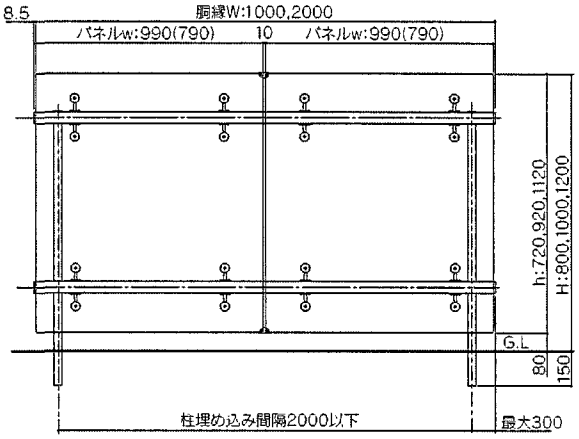
名称	サイズ	内容
胴縁	2008	胴縁(2) アームロッド(8) 傷防止プレート(16) ドットポイント金具(8) M5×20皿小ネジ(8) Φ5×12トラス3種(16) ジョイントスリーブ(2) Φ4×12トラス3種(4)
	2010、2012	胴縁(2) アームロッド(16) 傷防止プレート(32) ドットポイント金具(16) M5×20皿小ネジ(16) Φ5×12トラス3種(32) ジョイントスリーブ(2) Φ4×12トラス3種(4)
	1008	胴縁(2) アームロッド(4) 傷防止プレート(8) ドットポイント金具(4) M5×20皿小ネジ(4) Φ5×12トラス3種(8) ジョイントスリーブ(2) Φ4×12トラス3種(4)
	1010、1012	胴縁(2) アームロッド(8) 傷防止プレート(16) ドットポイント金具(8) M5×20皿小ネジ(8) Φ5×12トラス3種(16) ジョイントスリーブ(2) Φ4×12トラス3種(4)
自在柱	全サイズ	柱本体(1) 胴縁ブラケット(2) Φ4×12トラス3種(4) Φ4×10セルフドリリングビス(4) 止め金具(4) Φ4×12皿1種(8)
2段自在柱	H:16	柱本体(1) 柱目板(L=295(2),L=355(1)) 胴縁ブラケット(4) Φ4×10セルフドリリングビス(8) ブラケット受け(4) M4×8トラス小ネジ(8) Φ4×16皿3種(2) Φ4×16皿セルフドリリングビス(1) 柱キャップ(1) Φ4×19なべセルフドリリングビス(2) Φ4×12皿1種(8) 止め金具(4) 止め金具(丸)(2) ドットポイント金具(2) 傷防止プレート(2) M5×12小ネジ(2)
	H:18	柱本体(1) 柱目板(L=295(1),L=355(1),L=495(1)) 胴縁ブラケット(4) Φ4×10セルフドリリングビス(8) ブラケット受け(4) M4×8トラス小ネジ(8) Φ4×16皿3種(2) Φ4×16皿セルフドリリングビス(1) 柱キャップ(1) Φ4×19なべセルフドリリングビス(2) Φ4×12皿1種(8) 止め金具(4) 止め金具(丸)(2) ドットポイント金具(2) 傷防止プレート(2) M5×12小ネジ(2)
	H:20	柱本体(1) 柱目板(L=355(1),L=495(1),L=695(1)) 胴縁ブラケット(4) Φ4×10セルフドリリングビス(8) ブラケット受け(4) M4×8トラス小ネジ(8) Φ4×16皿3種(2) Φ4×16皿セルフドリリングビス(1) 柱キャップ(1) Φ4×19なべセルフドリリングビス(2) Φ4×12皿1種(8) 止め金具(4) 止め金具(丸)(2) ドットポイント金具(2) 傷防止プレート(2) M5×12小ネジ(2)
パネル	全サイズ	パネル本体(1)
エンドキャップ	共通	エンドキャップ(4) Φ4×10タッピン1種(4) 取付説明書(1)
連結金具セット	共通	ジョイントスリーブ(2) Φ4×12トラス3種(4)
コーナーヒンジセット	共通	コーナーヒンジ(2) Φ4×10タッピン1種(4)

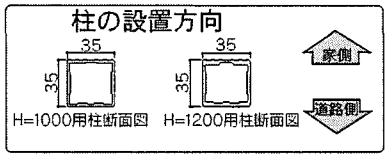
納まり図

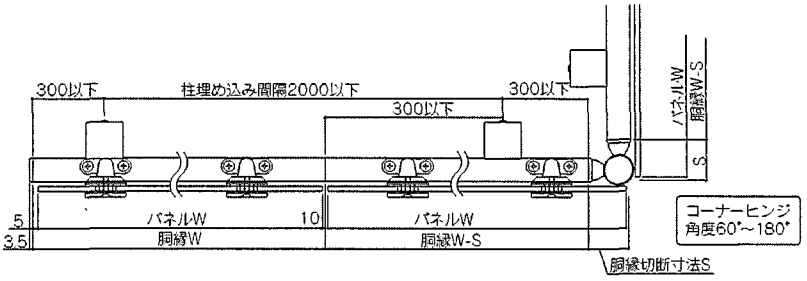
自在柱

※本図は、H10,H12の納まり図を示します。





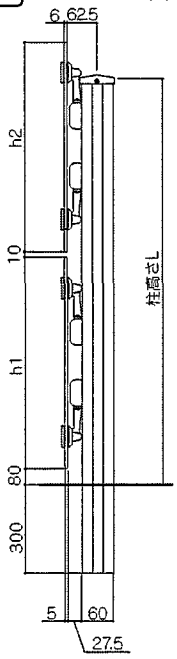


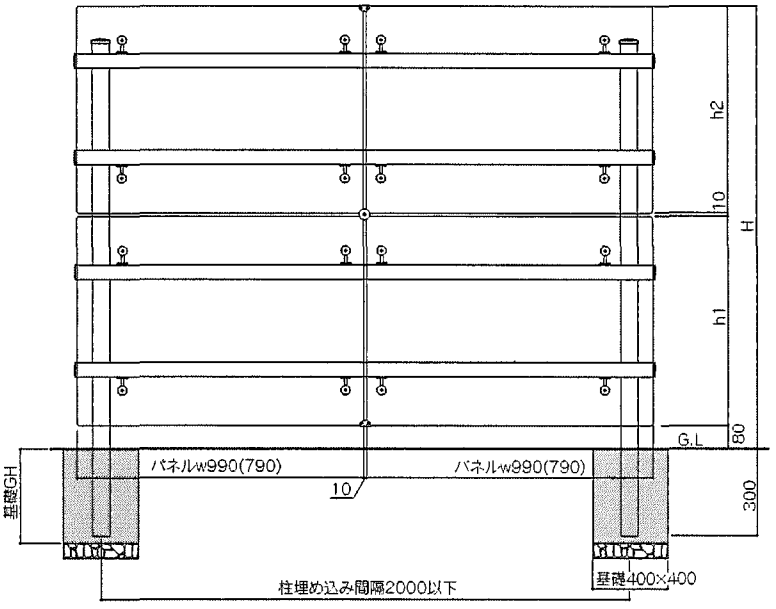


コーナー部の納まりは、P8 6 コーナー部の納まりを参照してください。

2段自在柱

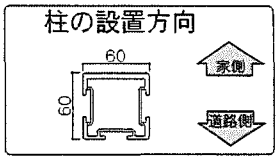
※本図は、H16(h:720+720)の納まり図を示します。





高さ寸法表

呼称	全体高さH	パネル高さ h1	パネル高さ h2	柱高さL	基礎G.H
H16	1530	720	720	1410	550
H18	1730	720	920	1610	650
		920	720		
H20	1930	720	1120	1810	700
		920	920		
		1120	720		



構造説明図

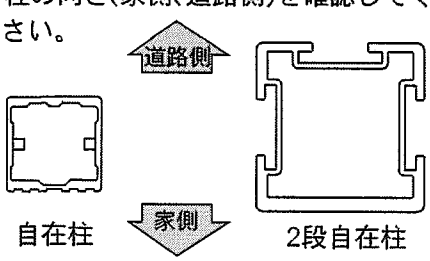
※本図は、H:10、H:12タイプの場合を示します。

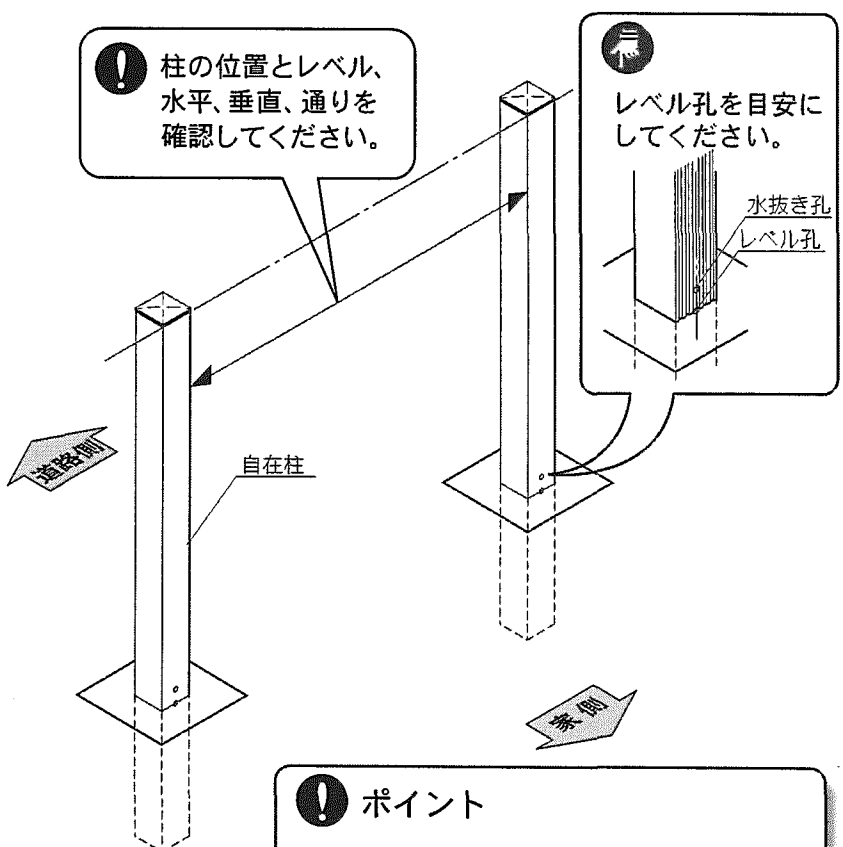
フェンス用パネル
アームロッド
EB-2308
自在柱
エンドキャップ
CY-2206
柱キャップ
CY-1621
胴縁
ドットポイント金具
ETC-4676

1 柱の設置

① 納まり図を参照し、柱の埋め込み位置やレベルを確認して柱を埋設してください。

柱の向き(家側、道路側)を確認してください。





地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

ポイント

柱の埋め込み間隔：2000㎜以内
連結部：端部より300㎜以内に設置してください。

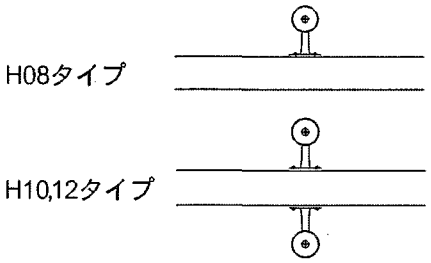
2 アームロッドの取付け

2-1 アームロッドの取付け

① 胴縁にアームロッドを、M5×12トラスビス(3種)にて取り付けてください。

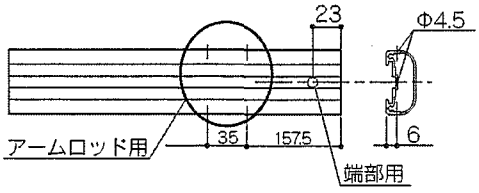
アームロッドの取付けの向きを、間違えない様にしてください。

H08とH10,H12タイプでは、アームロッドの取付ける数が異なります。



ポイント

W800用のパネルを使用される場合は、胴縁の端部を200㎜切断し、孔加工をし直してからアームロッドを取付けてください。



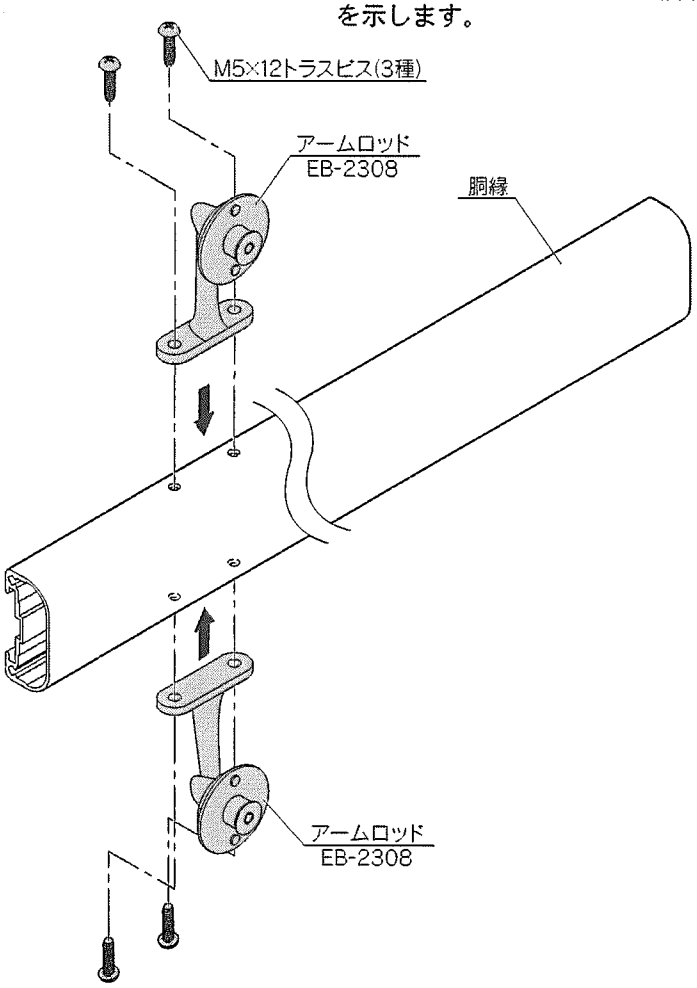
3 胴縁の取付け

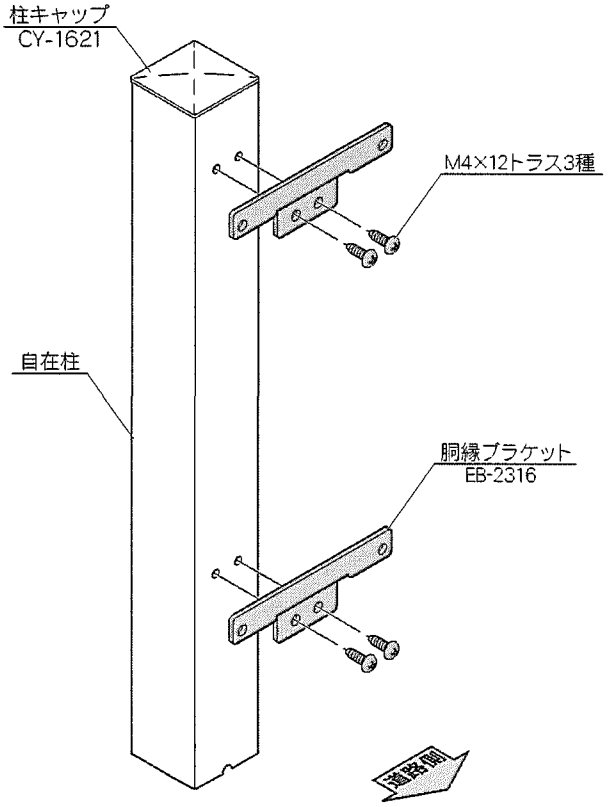
3-1 胴縁ブラケットの取付け 自在柱（1段）

① 柱に胴縁ブラケットをM4×12トラス3種にて取り付けてください。

胴縁ブラケットは必ず水平になるように取付けてください。

※本図は、H:10、H:12タイプの場合を示します。





3-2 胴縁ブラケットの取付け 2段自在柱

① ブラケット受けをスライドして、ブラケット受けに胴縁ブラケットをM4×8トラスネジで取付けてください。

② 柱目板をスライドさせて、M4×16皿3種で固定してください。

※下段用の柱目板はM4×16皿セルフドリリングビスで固定。

③ 柱上部に柱キャップを取付けてください。

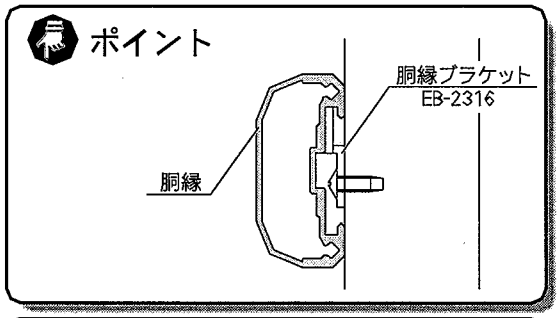
柱目板の長さ

H呼称	組合せ	L1	L2
16	上段:800 下段:800	295	295
18	上段:800 下段:1000	295	495
	上段:1000 下段:800	495	295
20	上段:800 下段:1200	295※1	695
	上段:1000 下段:1000	495	495※2
	上段:1200 下段:800	695	295※1

※1 L:495の柱目板を200mm切断してご使用ください。
※2 L:695の柱目板を200mm切断してご使用ください。

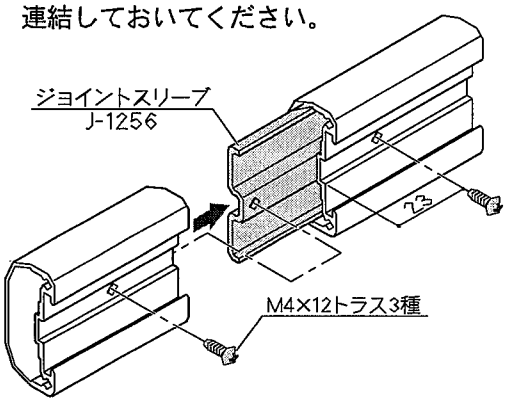
3-3 胴縁の取付け

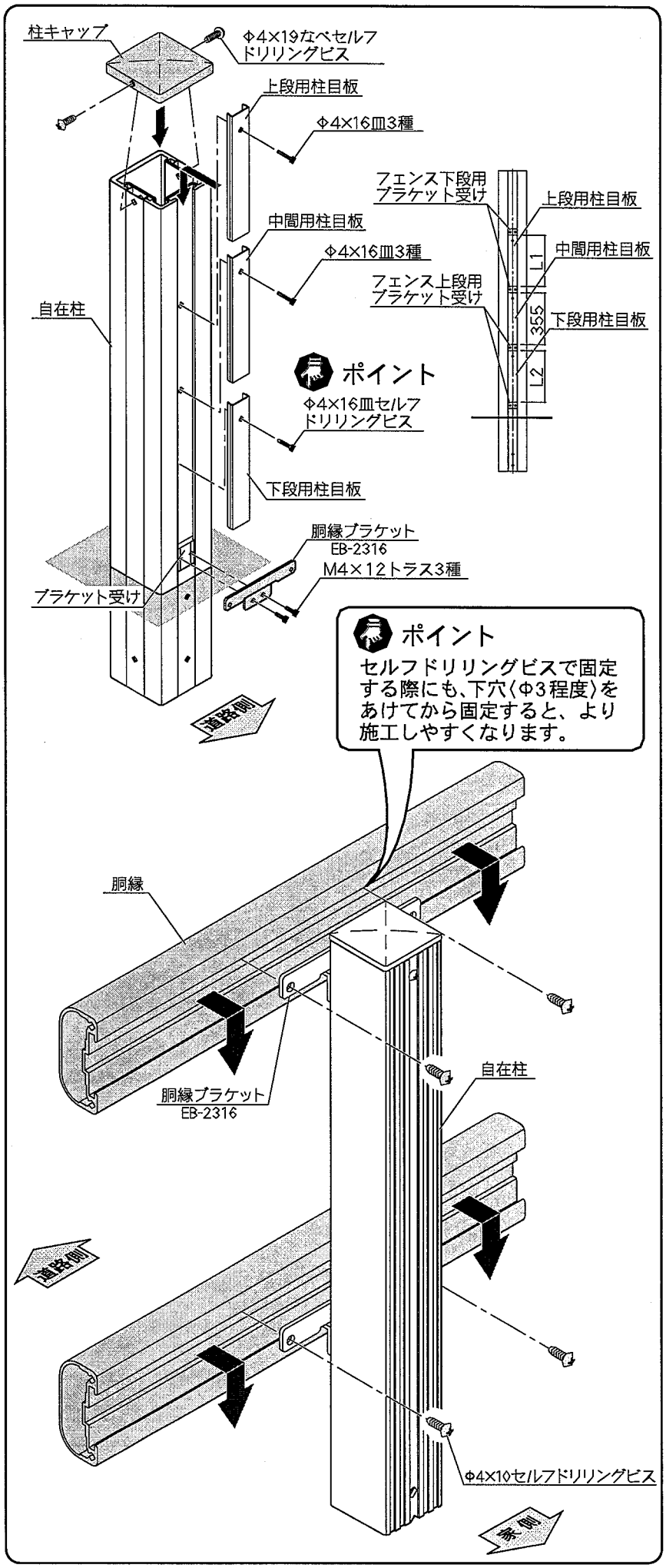
① 胴縁ブラケットに胴縁を引っ掛け、位置を決めてから、φ4×10セルフドリリングビスにて固定してください。



P2の納まり図を参照し、胴縁とパネルの関係を確認の上、胴縁の位置を決定してください。又、上下の胴縁位置は必ず合わせてください。又、コーナー部に関しては、P8 6 コーナー部の納まりを参照の上、胴縁の取付けを行なってください。

② 胴縁の連結部は、予めジョイントスリーブにて胴縁同士をM4×12トラスビス3種にて連結しておいてください。





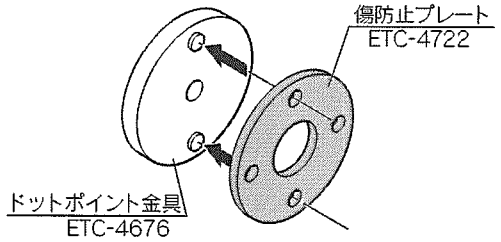
4 パネルの取付け

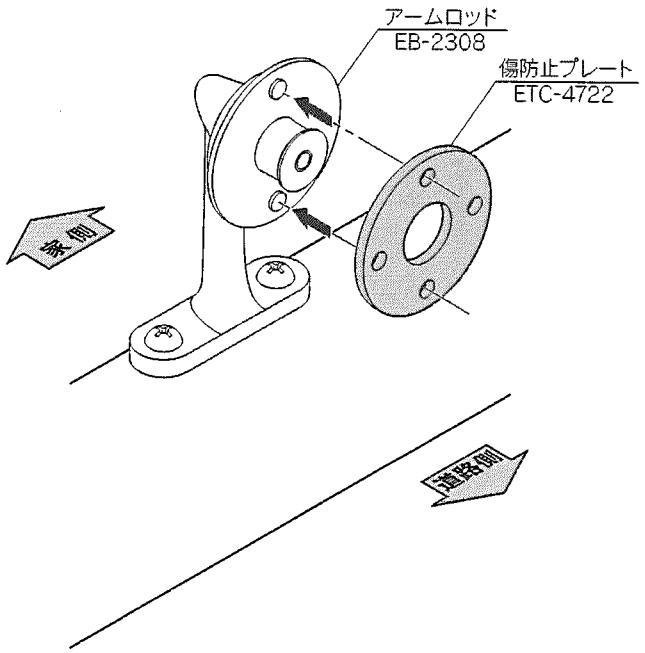
4-1 傷防止プレートの取付け

① 傷防止プレートを、あらかじめアームロッドとドットポイント金具の突起部に嵌め込んでください。

ポイント

金具の突起に傷防止プレートの孔の位置を合わせてください。





4-2 パネルの取付け

① パネルの養生シート(両面)を剥がしてください。

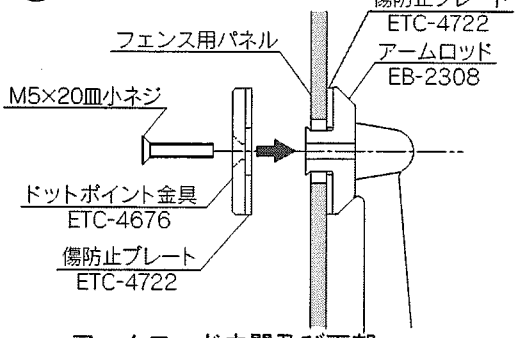
② 右図を参照して、一番上のアームロッドの突起にパネル孔を引っ掛けてください。

ポイント

- パネルに上下、表裏はありません。
- アームロッドの突起部に引っ掛けるのは、一番上の孔だけで、下の孔はフリーな状態になっています。

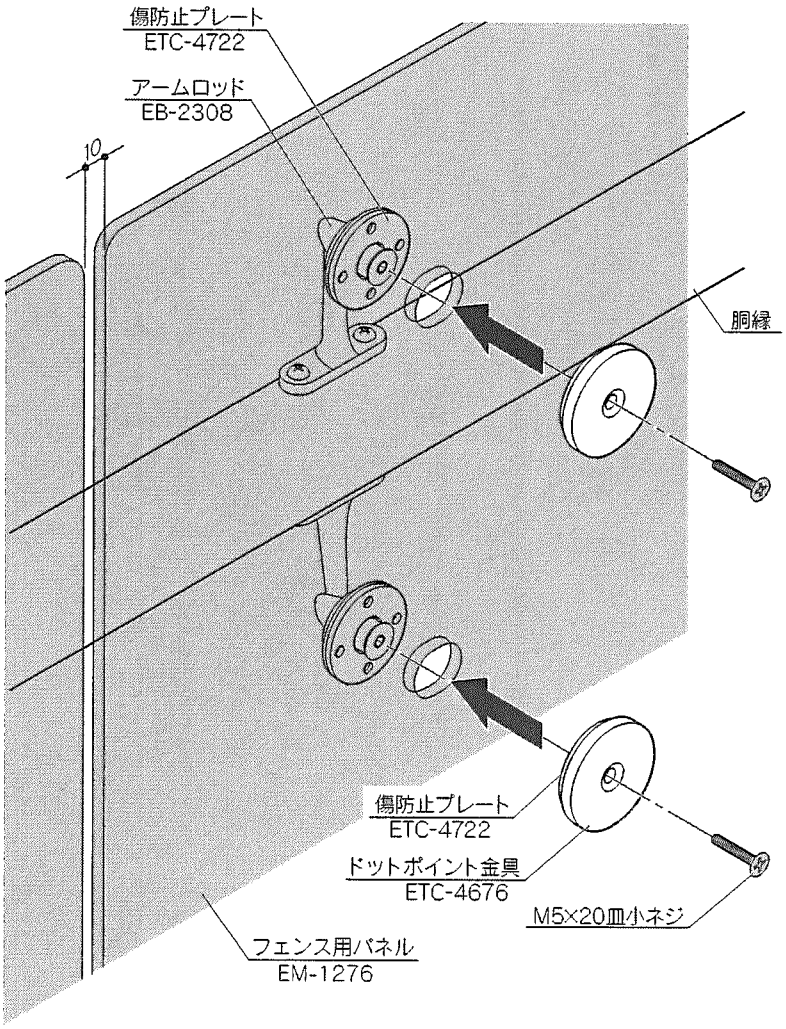
③ 道路側からドットポイント金具をパネルにあて、M5×20皿小ネジにて取り付けてください。

ポイント



アームロッド中間及び下部

※本図は、H:10、H:12タイプの場合を示します。

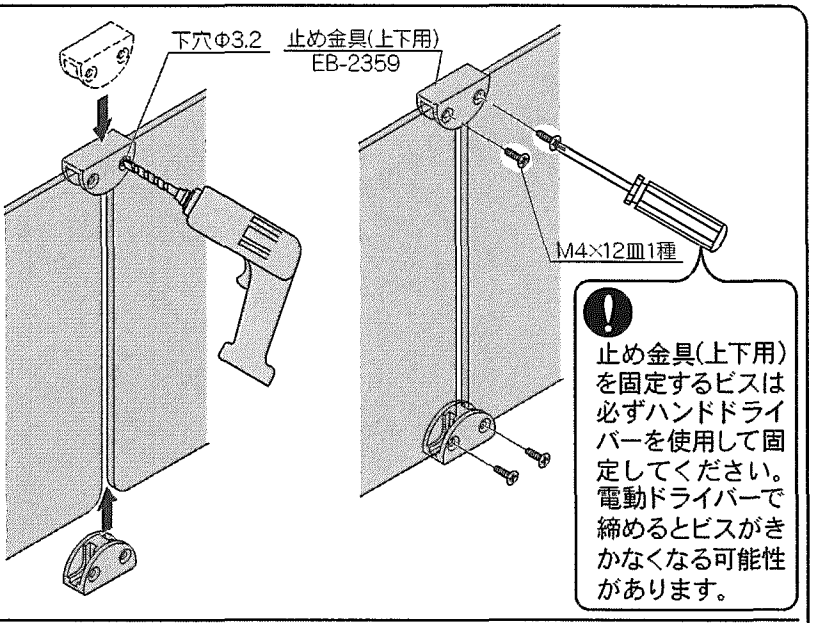


4-3 パネルの連結部

自在柱（1段）

① 止め金具を挿入して、ビス止めする箇所にΦ3.2の下孔をあけてください。

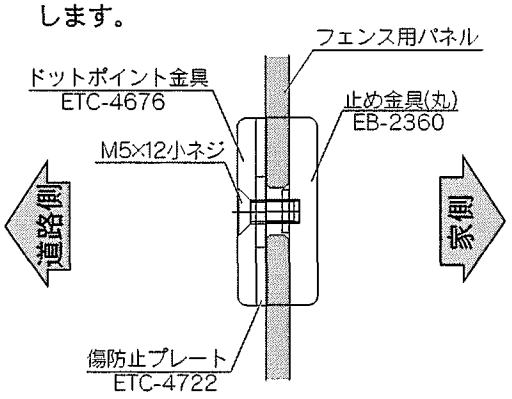
② Φ4×12皿ビスで固定してください。

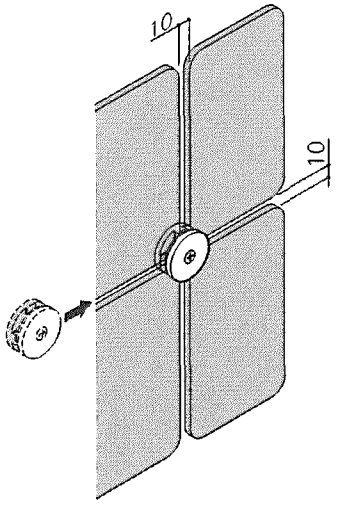


自在柱（2段）

・パネル上下の止め金具は1段の場合と同様に止めてください。

① 下図のように止め金具(丸)を仮組みして、上下のパネルの隙間からスライドさせてパネルの連結部に移動したらビスを締めて固定します。

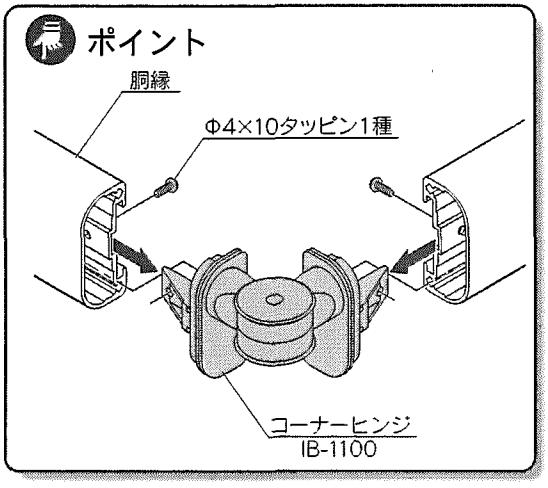


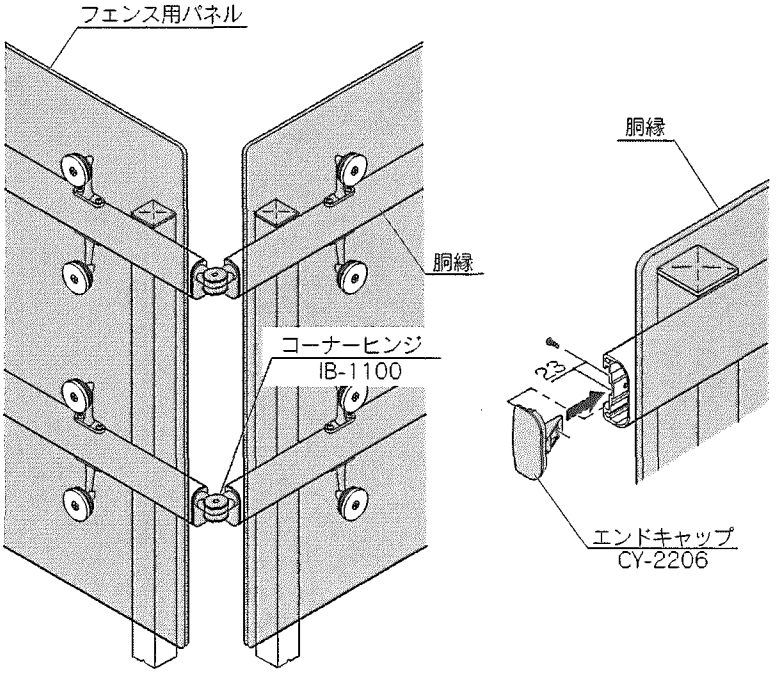


5 エンドキャップの取付け コーナー部の連結

① コーナー部の胴縁を、コーナーヒンジで接続してください。

② 胴縁の端部にエンドキャップを取り付けてください。



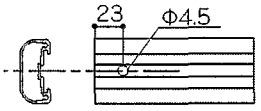


6 コーナー部の納まり

ポイント

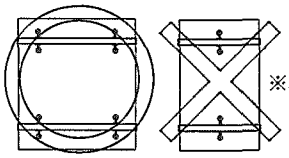
胴縁にそのままコーナーヒンジを取付けて接続した場合、角度によりコーナー部のパネルに隙間が生じます。隙間を小さくする為に角度に合わせて胴縁を切断し、コーナーヒンジを取付けることをおすすめします。

胴縁を切断した際には、切断部から23mmの箇所にΦ4.5の孔加工をしてください。



7 フェンスの切り詰め

フェンス切り詰め時、アームロッドが1枚のパネルに対して2列になるように、パネルと胴縁を切断、孔加工してください。



※本図はH10,H12を示す。

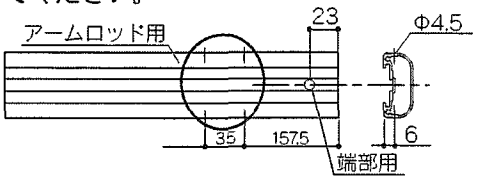
パネルの切断

ポイント

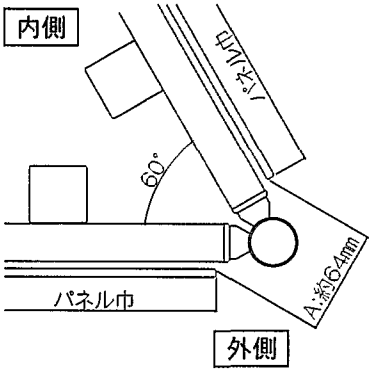
- パネルを切断する場合、アクリルカッター等で切断してください。切断後、必ずやすりでコーナーの面取りやバリを落としてください。最後にサンドペーパー等で仕上げるときれいな切断面になります。孔をあける場合は、右図を参考にΦ20の孔をあけてください。

胴縁の切断

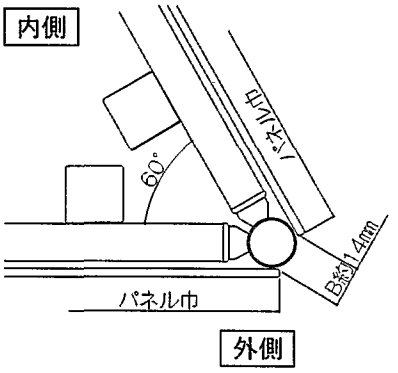
パネル切断長と同じ長さで切断後、端部の孔加工をしてください。 また切断長210mm以上の時は、アームロッド用の孔加工もしてください。



例 60°の納まり



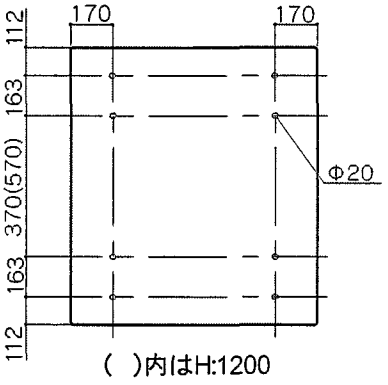
胴縁を切断しない場合

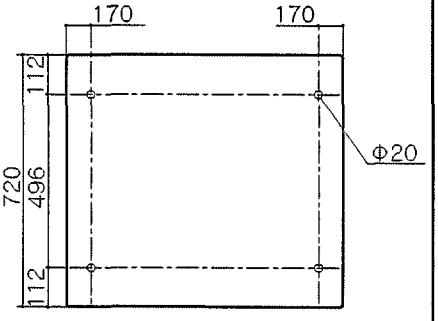


胴縁を切断した場合

角度別胴縁切断長さ

角度	A	B	胴縁の切断長さ
60°	64	14	50
90°	73.5	10	45
145°	77	12	40
170°	73	13.5	30





切断有効長さ　　〈 〉内はW800用を示す。

切り詰め幅	切り詰め可否	備　考
～140	○	胴縁に端部の孔加工が残ることがあります。
140～210	×	パネルの孔加工が残ります。
210～550 〈210～350〉	○	パネル、胴縁に孔加工をしてください。
550～〈350～〉	×	アームロッドの2列取付けが出来ません。

パネル(ポリカーボネート)について

1 使用上の注意

① パネルは材質の特性上、温度の変化による伸縮が発生致します。それによって多少のたわみ(反り)が発生する場合がありますが、使用上及び機能上問題ありません。

② パネルの近くで、殺虫剤、除草剤は使用しないでください。 有機系、石油系の物質が付着した場合、変色やムラ、変形、割れを生じることがあります。

2 お手入れ方法について

① ほこりがついた時には、柔らかいスポンジを用いて水洗いしてください。そのまま拭きとると、表面が傷付くことがあります。

② 洗剤を使う場合は、中性洗剤を使用し、水でよく洗い流してください。酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤を使用した場合、変色やムラ、変形、割れを生じることがあります。